

津久井やまゆり園事件追悼式 知事式辞

本日「津久井やまゆり園事件追悼式」を行うにあたり、神奈川県を代表して、私の思いをお話させていただきます。

9年前の平成28年7月26日。ここ津久井やまゆり園で19名もの命が奪われる大変悲しい事件がおきました。

お亡くなりになった方々、ご家族を失われたご遺族、大切な仲間を失った園の皆さまの気持ちを思うと、私は今も、強い怒りと深い悲しみがこみあげ、その気持ちを抑えることができません。心からお悔やみ申し上げます。

犯人は「ちゃんとした会話ができない人間は生きている意味がない」という考えでしたが、これは自分勝手に、デタラメで、完全に間違ったものです。そのことを私たちは決して忘れてはいけません。そして、このような悲しい事件を二度と繰り返してはなりません。

そのために、県は、まず、県議会と一緒に「ともに生きる社会かながわ憲章」を作り、その考えを広めるために全力をあげてきました。そして、私自身、障がいのある人たちと何度も話し合い、みなさんの思いや望んでいることを聞きながら、「神奈川県／当事者目線の障害福祉／推進条例～ともに生きる社会を目指して～」という大切な決まりも作りました。

私は、この大切な決まりにあるように、障がいのある人たちの本当の気持ちになって、その思いを大切にし、障がいを理由に差別や虐待されることがなく安心して暮らすことができ、誰もがうれしいと感じられる社会を実現するため、今後も全力で取り組むこととお約束します。

令和七年七月二十六日

神奈川県知事 黒岩 祐治